

総務委員会視察報告

【実施日／視察場所】

10月14日 兵庫県尼崎市
10月15日 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
(兵庫県神戸市)



兵庫県尼崎市



AIを活用した 特殊詐欺防止対策

尼崎市は、産官学で連携し、AIを使った先進的な特殊詐欺対策に取り組んでいる。

高齢化が進む羽村市では、高齢者を狙った特殊詐欺が継続して発生しており、被害の未然防止に資する施策が望まれる。

そこで、委員会として羽村市の実情に合った実効性の高い特殊詐欺対策を考えるため、尼崎市の取組を学ぶこととした。

尼崎市の現状

尼崎市内の特殊詐欺被害の認知件数は令和4年に113件だったが、令和6年には86件に減少した。なお、令和4年比の減少数は兵庫県下でトップのことだった。

この間、市は自動録音機能付電話機の購入補助事業、外付け録音機の貸出、職員等によるATM前での注意喚起などを実施してきた。

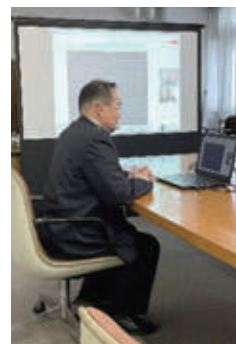
犯罪心理学×AIによる 未然防止技術

令和4年度から市・東洋大学・富士通株式会社の三者は、電話を受けている人のバイタルサインを利用して特殊詐欺を検知する手法の実証実験をした。

これは、「犯罪心理学とAIを活用した犯罪未然防止」という日本初の共同研究であり、富士通株式会社はテクノロジを、東洋大学は犯罪心理学の知見を、市は実証実験の人や場所を提供した。

まずはミリ波センサーによりバイタルサインを測定し、被害者側が特殊詐欺の電話を受けているかどうかを判断するAIを開発、実証実験を行った。具体的には、高齢者宅の電話機のそばにミリ波センサーを設置し、電話中の人体の微小な胸部・腹部の動きを読み取り、呼吸や心拍を計測する。計測した呼吸や心拍を基に、本人が騙されているかAIが判断。最終的に82%の精度で検知可能であった。令和5年11月からは、詐欺の疑似体験ができる特殊詐欺防止訓練AIツールを用い、詐欺の加害者側をAIで再現し、市民に特殊詐

欺の手口を体験してもらう実証実験を始めた。このツールは最新の詐欺手口を取り込めることや、被害者側との自然な会話が可能のため、実態に即した臨場感のある訓練が可能である。私たち委員全員も訓練を体験した。



体験の様子

市はこれらの実証実験を踏まえ、講習会などで体験会を実施し、詐欺の手口や詐欺電話を受けている時の体験者自身の心理状態を理解してもらい、市民の防犯意識の向上につなげていくことだった。

所感

尼崎市は、犯罪心理学の知見やAIなどの先端技術に加え、警察・金融機関等との連携、電話機のセキュリティ向上など、あらゆる手段を総動員して特殊詐欺防止に取り組む、着実な成果を上げていた。羽村市でも自動通話録音機の貸与や関係機関との連携を進めている。尼崎市の産官学連携体制や事

業スキームについては、羽村市にも活かせるかと考える。

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



災害に強い まちづくりのために

甚大な自然災害が全国各地で発生し、自助・共助・公助による災害に強いまちづくりが求められている。市の防災減災対策を考えるため、兵庫県神戸市の阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」を視察した。

センターの取組

「人と防災未来センター」は、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、安全・安心な社会を実現するため、平成14年に兵庫県が設置した施設である。

センターは「展示」「資料収集・保存」「災害対策専門職員の育成」

「実践的な防災研究と若手防災専門家の育成」「災害対応の現地支援」「交流・ネットワーク」の6つのミッションを、総合的に組み合わせた活動を行っている。

加えて、広く人々に訴える啓蒙活動の推進や、兵庫県内のすべての学校はもとより、全世界への防災・減災情報発信の拠点、災害ミュージアム・シンクタンクとしての役割を果たしている。

令和7年度は阪神・淡路大震災発生30年を迎えたことや、大阪・関西万博の開催もあり、今後の大規模災害や地球規模での安全・安心な社会づくりへの貢献、更には、防災の知恵(災害文化)の普及・啓発の取組を展開している。

展示で学ぶ災害

センター内の展示では、阪神・淡路大震災の建物倒壊や火災を再現映像と音響で体験するシアター



センター内の展示

や、震災資料や自然災害に関する実験装置などがあり、防災知識を身に付けることができる。

特に、復興に至るまでのまちと人をドラマで紹介する映像作品「このまちと生きる」では、避難所での合同葬儀、生活の様子や、震災後に仮設住宅等に住む一人暮らしの高齢者を訪問する「心の支援」の取組、これからのまちをどのようにつくっていくのかを考える会として構成した「まちづくり協議会」を構成したことなどを知ることができ。映像を見て、避難所生活となったとき、果たして自分には何ができるのだろうかと考えさせられた。

今回の視察で、神戸市が復興に向けて自分たちが住みやすく、災害に強いまちづくりを行ってきた変遷を学ぶことができた。また、



液状化現象の実験装置

羽村市で起こりうる災害等に対する知識、意識等を高めること、災害への備えを進めていくことが必要であると感じた。

直接見学することで感じること・学びになるものが多いと強く感じる。関西方面へお出かけの際には、「人と防災未来センター」に是非一度足を運んでみていただきたい。



行政視察報告書
(全文)はこちら



※記事は報告書の内容を要約しています。

環境まちづくり委員会視察報告

【実施日/視察場所】

10月15日 福井県勝山市・福井県立恐竜博物館

10月16日 めがねミュージアム
(福井県鯖江市)



福井県勝山市 福井県立恐竜博物館

恐竜でまちづくりを

福井県では、日本の恐竜化石の8割が発見され、福井駅前や県立恐竜博物館には様々な復元恐竜が設置されている。

その多くは、羽村市内企業の「株式会社ココロ」が設計・製作し、勝山市議会が視察に来たという。そこで「恐竜を発掘・展示するまち×恐竜をつくるまち」として両市のブランドイメージを高める可能性を探るため、勝山市役所と市内の福井県立恐竜博物館を視察した。



全長10m。動く恐竜 スコムス(福井駅前)



勝山市のまちおこし

恐竜コンテンツ23体が並ぶ福井駅前から、えちぜん鉄道・勝山永平寺線で45分。勝山駅広場では恐竜の親子が出迎える。

勝山市といえば恐竜。1988年に2億2000万年前の肉食恐竜化石が発掘され、恐竜化石の宝庫として注目されている。

山間部は豪雪地帯だが、自然豊かで山林や溪谷、森に囲まれた風景が広がり熊の姿も見かけるといふ。市街地は九頭竜川の河岸段丘に広がる。面積254km²と羽村市の25倍で人口は2万875人。

2024年春に北陸新幹線が延伸し、関東方面からの観光客が増加したが、宿泊者の少なさが課題。市内人口も減少しており、活性化を掲げたまちおこしを行っている。

恐竜と歴史的遺産で

雇用創出、定住人口増加を

まちおこしを担うのが、市の委託を受けた勝山市観光まちづくり株式会社。広報・南部真佐美さんによると、

- ①「道の駅」などの収益事業運営。
- ②観光事業の恐竜に加え、越前大仏といった歴史的遺産やスキー場

などの総合的なPR発信。

③飲食や土産店での地元農産物・ニジマスの販売。が事業の柱。

この他にも、伝統的な繊維業の振興など、長期戦略で地域全体を盛り上げ、雇用創出を行っている。

星野リゾートの進出も決まり、今後、外国人観光客にも期待。「若者の定住や移住促進につなげたい」と言う。

福井県立恐竜博物館

福井県立恐竜博物館は世界三大恐竜博物館の一つで、2000年に開館し、北陸新幹線延伸に合わせリニューアル。地下1階、地上3階で、館内は「恐竜の世界」「地球の科学」「生命の歴史」の3ゾーンで構成。恐竜の世界から人類の出現までを展示。化石クリーニン

グなどの研究体験もできる実感型施設となっている。「恐竜の世界」には、ティラノサウルスなどの動



定住人口が1人減ると年間消費額が135万円減少する

く復元恐竜ロボットなどが11体あり、恐竜の全身骨格50体を含めた1800点の資料を展示。

博物館に13体ある復元恐竜は羽村市内の株式会社ココロに特注。「本物志向で優れておりメンテナンスなども依頼している」と副館長の寺田福井大学客員教授。来館者は年間約120万人。観覧料は一般1000円、未就学児は無料。幼児が恐竜に駆け寄り「ここに住みたい！」と叫んだり、首長恐竜を見上げて驚いたり、とても楽しそうだったと参観したお母さん。年齢に関わらず「ここに響くときめき」があるのだろう。

家族連れが多くマイカーで2、3時間の関西、中京方面からが7割、関東地方は2割弱という。

博物館は、化石発掘体験もできる「かつやま恐竜の森」内にあり、2026年には公園内に福井県立大学恐竜学部が開設される。

羽村市の株式会社ココロは、羽村市産業祭に子供が乗れる恐竜ロボットを出品。栄小学校の「あこがれ夢広場」ワークショップにも参加。テレビはむらでも紹介されており、「恐竜をつくるまち」とし

ての活性化にも期待したい。



動くティラノサウルスと恐竜骨格標本



めがねミュージアム めがね産業との連携



国産めがねフレームの9割以上を生産する福井県鯖江市。漆器や刃物造りの伝統を活かした、めがね産業での経済効果など、まちづくり成功例の現状を学ぶ。

地域の伝統を活かし

地場産業で成功

鯖江市はめがねフレームの国内シェア96%というめがねの聖地。駅前道路には、めがねマークの旗が連なる。その情報発信・PRを

行うのが「めがねミュージアム」。来館者は年間12万人。めがねの歴史から、フレーム造り体験、新製品販売も行っている。

メガネは13世紀イタリアで造られた。その後、印刷機発明での活字文化普及で需要が増加。フランシスコ・ザビエルは近視眼鏡で織田信長に謁見したという。

110年前、大阪でめがね修業をした村民が技術を持ち帰り、農閑期の副業として始まった。地元には越前漆器、刃物、和紙、陶器などを北前船で北海道から島根県まで広げてきた技術と伝統がある。それがめがねフレームにも活かされて進化。デザイン、金型、プレス、研磨など10以上の作業に分業化され、まち全体がめがね工場のようなっているようだ。

1982年にチタンフレームを開発、鉄より軽く錆びない人気製品として需要が拡大。現在も、人口7万人の1割がめがね産業に従事。半数は女性で、その社会進出はSDGsの面からも評価されている。近年は、安価な中国製などの影響でピーク時1200億円の出荷額より減少しているが主要産

業であり「技術と品質」で巻き返している。

新たな目標は「自然や風土から育まれた、モノづくりの歴史と伝統の循環を取り戻し『MADE IN JAPAN』として未来を見据える」という。



江戸時代の眼鏡とめがねミュージアム



羽村市は大企業撤退の一方で、DXやIT関連、試作品製造など新たな産業が進出。首都圏に位置し豊富な水源など有効資源を利用した産業発展の参考にしたい。

行政視察報告書
(全文)はこちら



※記事は報告書の内容を要約しています。

文教厚生委員会視察報告

【実施日/視察場所】

10月14日 神奈川県横須賀市



神奈川県横須賀市

終活を考える



孤独死・孤立死が社会問題化している中、今後課題となるエンディング・サポートについて、先進的に取り組んでいる横須賀市を視察した。

エンディングプラン・

サポート事業

横須賀市は、身寄りのない高齢者の無縁遺骨増加を背景に、民間連携の生前契約支援事業を、全国初の先進的な取組として、2015年に開始した。

対象は一人暮らしで生活にゆとりのない高齢者等で、9社ある協力葬儀社の中から、死後事務委任契約を結び、葬儀等の費用を本人が前納する仕組み。市は安否確認や見守りを行い、死亡後は納骨まで対応する。

生前の意思が尊重できた割合は令和3年度で23・3%。葬儀費用等を前納しているため、市が火葬費用を負担する必要がなく、支出

回避にもつながっている。
わたしの終活登録事業

この事業は2018年に開始。全市民を対象とした制度で、本人の意思を事前登録することで、安心して地域で暮らせることを目指している。



(上)エンディングプラン・サポート事業の流れ

(下)終活登録の仕組み

(いずれも各事業パンフレットより抜粋)

緊急連絡先や遺言書保管場所、かかりつけ医など、11項目から任意で登録ができ、病气や死亡時には、本人が指定した関係機関等に市が情報を開示する。

登録者は10代から90代と幅広く、特に80代女性の登録が多い。市民への周知は広報や出前トークで行い、令和4年度の決算額は約3万7000円とのことだった。

視察を終えて

「エンディングプラン・サポート事業」は、核家族化や地域のつながりの希薄化が進む中、行政と民間企業が連携し支える新たなモデル事業であると感じた。羽村市では現時点で同様の逼迫状況はないが、将来を見据えた仕組みづくりが必要である。

「わたしの終活登録事業」の登録内容は全て重要であるが、特に緊急連絡先の登録があることは、万が一の時や医療や介護が必要になった場合、本人の意思を最大限尊重した支援を可能にする制度であると感じた。年齢に関係なく登録しておくことにより、市民ひとりひとりが安心して生活できるのではないだろうか。

今後の羽村市の終活支援の参考となる視察だった。

行政視察報告書
(全文)はこちら

※記事は報告書の内容を要約しています。

市議会からのお知らせ

今年も行いました！

都立羽村高等学校の生徒たちとの意見交換会

11月5日に「ハム市議トーク会～羽高生と市議会議員が語ってみた！？～」を行いました。今回のテーマは、『あなたの「働く」ことへの解像度は？情報の穴を埋めてみよう！』。

羽村高校の生徒会役員、学校PRを担当する生徒の方と、

「働くことへの疑問や不安は？」

「どんな職場や仕事なら羽村で働きたい？」

「もっと羽村が良くなるには？」

などについて、意見交換しました。

意見交換を終えて、高校生の皆さんから

将来の目標が固まってきた

働くことへの不安を解決できた

他の生徒の意見を聞いて
自分の視野が広がった

次回も開催してほしい



羽村にもモールなどの
大きな施設があるといい

意見交換の時間を
増やしてほしい

市を良くするアイデアは
続けてほしい



などの感想をいただきました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

※この意見交換会は、議会改革推進委員会での提案事項をもとに実施しているものです。

ぜひお越しください

タウンミーティングを開催します！

今回のテーマは、「みんなで考えよう！はむらのミライ2026」。

【日時】令和8年3月29日(日) 午後2時～午後4時(予定)

【会場】羽村市生涯学習センターゆとろぎ(3階) 創作室1

【定員】40人

市内在住・在勤・在学の方は、どなたでも参加できます。

テーマに沿って、議員と意見交換を行い、

市の未来について一緒に考えましょう！

※詳細については、広報はむら3月1日号にてお知らせします。



令和7年2月に開催したタウンミーティングの様子

より開かれた議会の実現のために

議会改革の検討結果を提出しました

全議員で構成する議会改革推進委員会は、議長からの諮問を受け、より開かれた議会運営の在り方について、令和5年8月28日から検討を行ってきました。令和8年1月19日、この検討結果をまとめ、議長へ提出しました。



■抗議文を提出しました■

降下訓練における羽村市への場外降着について(抗議)

令和7年11月18日夕方、横田基地所属のC-130輸送機による降下訓練において、区域外(羽村市)に兵士及びパラシュートの一部が降着した事象に対し、抗議文を提出しました。

提出日 11月26日

提出先 外務大臣、防衛大臣、防衛省北関東防衛局長、防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長、
在日米軍兼第5空軍司令官、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

東京都福生市内へのパラシュート落下について(抗議)

令和7年12月1日、熊川児童館(福生市)の屋上に米軍のものと思われる物体が発見され、米軍に確認を行ったところ、空挺降下訓練に関する誘導傘(パイロットシュート)であったこと、また、この落下物は11月20日に米軍兵士がパラシュート降下中に切り離した主パラシュートの付属部品であること、主パラシュートは米軍が同日夜間に熊川児童館敷地内から回収したことが明らかになったとの情報提供があった件に関し、抗議文を提出しました。

提出日 12月11日

提出先 外務大臣、防衛大臣、防衛省北関東防衛局長、防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長、
在日米軍兼第5空軍司令官、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

■皆様のご理解をお願いします■

議員が寄附をすること、議員に寄附を求めることは **禁止** されています

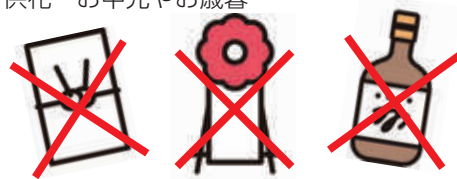
議員は、選挙区内の人(法人、その他団体を含む)に対して寄附をすること、あいさつ状を出すことなどが禁止されています。また、有権者が議員に対して寄附を求めることも禁止されています。

このため、議員は選挙区内の人に対して祝儀や香典、年賀状等のあいさつ状などを出すことができませんので、皆様のご理解をお願いいたします。

なお、現金に限らず、花輪や記念のトロフィー、飲食物など、多少でも金銭的価値のあるものを無償で提供することも寄附にあたります。

【寄附の例】

各種会合へのご祝儀 祭りへの寄附や差し入れ 地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ
親睦旅行への差し入れ 開店祝の花輪やお祝い 葬式の花輪や供花 お中元やお歳暮
入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝い



【例外】

- ・答礼のための自筆のあいさつ状
- ・各種会合へのご祝儀(参加者全員が会費を負担している場合に同額を負担する場合に限る)
- ・結婚披露宴のご祝儀(自らが出席し、その場で相手に渡す場合に限る)
- ・葬式・通夜の香典(自らが出席し、その場で相手に渡す場合に限る)

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和7年11月1日～令和8年1月31日の主な活動

11月

- 4日 ■ 文教厚生委員会調査研究活動(羽村私立保育園協議会との懇談会)
- 5日 ■ 市議会・都立羽村高等学校意見交換会「ハム市議トーク会」
- 6日 ■ 第2回瑞穂斎場組合議会定例会
- 7日 ■ 第2回羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会
- 10日 ■ 基地対策特別委員会行政視察(航空自衛隊横田基地)
- 11日 ■ 第2回西多摩衛生組合定例会
■ 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 12日 ■ 行政視察受入れ(北海道岩見沢市議会)
■ 第2回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会定例会
- 13日 ■ 東京都市監査委員会第1回委員研修会
- 14日 ■ 第3回公共施設再配置調査特別委員会
- 21日 ■ 監査委員協議会
■ 東京都市議会議長会定例総会
- 25日 ■ 第15回議会運営委員会
■ 第24回議会改革推進委員会
- 26日 ■ 第2回福生病院企業団議会定例会
■ 総務委員会市民インタビュー(ピースメッセンジャー)

12月

- 3日 ■ 第4回羽村市議会定例会(初日)
- 4日 ■ 第4回羽村市議会定例会(2日目)
- 5日 ■ 第4回羽村市議会定例会(3日目)
- 8日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会
- 9日 ■ 第4回羽村市議会定例会(4日目)
■ 第4回基地対策特別委員会
- 10日 ■ 第5回環境まちづくり委員会
■ 第5回文教厚生委員会
- 11日 ■ 第5回総務委員会

- 16日 ■ 第16回議会運営委員会
■ 第25回議会改革推進委員会
- 17日 ■ 第11回広報委員会
- 19日 ■ 第4回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第7回議員全員協議会
■ 第4回公共施設再配置調査特別委員会
- 23日 ■ 監査委員協議会

1月

- 6日 ■ 文教厚生委員会調査研究活動(羽村市介護保険事業所連絡会との懇談会)
- 7日 ■ 令和8年第1回広報委員会
- 8日 ■ 公共施設再配置調査特別委員会所管事務調査(市内公共施設視察)
■ 令和7年度議員研修会(学校統廃合をどう考えるか)
- 13日 ■ 西多摩地区議長会西多摩地区地域医療検討部会
- 15日 ■ 公共施設再配置調査特別委員会所管事務調査(市内公共施設視察)
- 16日 ■ 東京都市監査委員会第2回委員研修会
- 19日 ■ 第26回議会改革推進委員会
- 22日 ■ 第1回文教厚生委員会
■ 公共施設再配置調査特別委員会所管事務調査(市内公共施設視察)
- 23日 ■ 三多摩上下水道及び道路建設促進協議会第3委員会
- 26日 ■ 第1回議員全員協議会
■ 第1回議会運営委員会
■ 行政視察受入れ(熊本県熊本市議会)
- 27日 ■ 監査委員協議会
- 28日 ■ 三多摩上下水道及び道路建設促進協議会第1委員会
- 30日 ■ 三多摩上下水道及び道路建設促進協議会第2委員会
■ 西多摩地区議長会臨時総会

しぎかいカレンダー

●第1回定例会(3月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				2/19 陳情メ	20 議運	21
22	23	24	25	26	27	28
3/1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6	7
8	9 予特 (補正)	10 本会議	11 常任委	12 常任委	13	14
15	16 予特	17 予特	18 予特	19	20	21
22	23 議運	24	25	26 本会議		

■陳情メ…請願・陳情の3月定例会審議予定分の締切
 ■議 運…議会運営委員会
 ■常任委…常任委員会(総務、環境まちづくり、文教厚生)
 ■予特(補正)
 …一般会計等予算審査特別委員会(令和7年度補正予算)
 ■予 特…一般会計等予算審査特別委員会(令和8年度予算)
 ※会議の予定は変更になる場合があります。
 詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は3月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
当日市役所4階の議会事務局にお越しください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るができます。



羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

いつも「ぎかいのトビラ」をお読みいただき、ありがとうございます。リニューアルから53号を迎え、手に取りやすく読みやすくなったとの声を頂いています。これからも読者の皆様の姿を思い浮かべながら、より良い議会だよりを目指して工夫を重ねてまいります。

さて、羽村市議会では議場システムの改修を行い、12月定例会から電子採決を導入しました。議会での導入が全国的に進む中、議事の効率化や可視化が一層図られ、各議案に対する賛否がモニターに即時表示されるようになりました。「採決結果が分かりにくい」との声にも応える仕組みです。

議会のDX化が着実に進む今、ぜひ本会議場へ足をお運びいただき、傍聴を通じて議会の姿を身近に感じていただければ幸いです。議員一同、お待ちしております。
(中嶋)

【広報委員会委員】

鈴木 拓也(委員長)
 山崎 陽一(副委員長)
 林田 敦子 櫻沢 裕人
 金子 ひとみ 菅 勇真
 秋山 義徳 富松 崇
 中嶋 勝

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
 Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。